

令 地	和 域	6 年 度	第 2 回	飯 伊 医 療 會	調 整 會	議	資料 1
令	和	7	年	2	月	3	

地域医療構想の推進について

今後の進め方について

議論の進め方

- 医療機関間の更なる役割分担と連携を進めるため、医療提供体制の「グランドデザイン」を念頭に置き、圏域における議論を実施。
- 地域の医療関係者が医療の取り巻く現状を適切に把握し、議論の活性化がなされるよう、県よりデータ分析結果を提示。
 - ☞ 県、委託事業者(株式会社日本経営)、産業医科大学の三者によるデータ分析体制を新たに構築。
 - ☞ レセプトデータ等を活用し、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析(=地区診断)を実施。
 - ☞ 12月以降を目途に分析結果を各圏域に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。
- 圏域における議論を踏まえ、必要に応じ、策定した各医療機関の対応方針の見直しを行うとともに、圏域内で共有。 ※令和6年7月に、昨年度策定いただいた対応方針の更新方法について依頼。
 - ☞ 対応方針の見直し内容に応じ、調整会議の場での説明を依頼。

<イメージ>

【圏域における議論】

- 関係者間において、圏域における状況を共有し、課題等を議論
- 県から議論に資するデータを提示し、議論の活性化



圏域における状況を共有

医療ニーズの変化に応じ、
各医療機関の方針を考え
ていく(サイクルを回す)

各医療機関の方針を共有

【各医療機関の方針】

- 圏域における状況を踏まえ、必要に応じて対応方針の見直しを行う
- 機能の見直しや強化に関しては、県からの補助金等で支援



令和6年度 病院機能再編・連携強化支援事業（県のデータ分析体制の強化、医療提供状況等分析）の概要

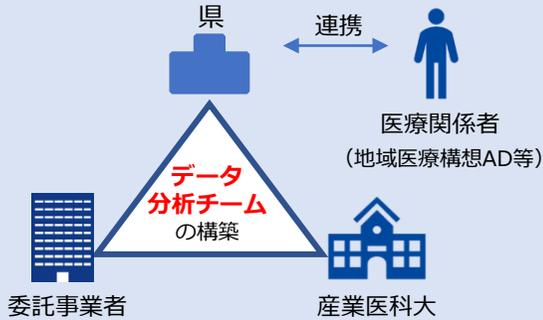
1. 目的

医療提供体制の「グランドデザイン」に基づき、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進するとともに、地域の医療関係者等が県内の医療を取り巻く現状を適切に把握することができるよう、県のデータ分析体制の強化を図り、県内の医療提供状況等の分析を行う。

2. 事業内容

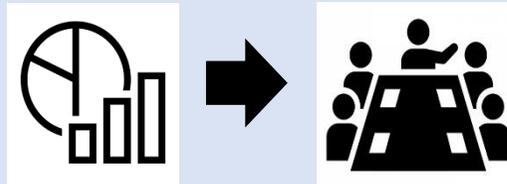
1 データ分析体制の構築

- 県、委託事業者（株式会社日本経営）、産業医科大学の三者によるデータ分析チームを新たに構築し、地域医療構想アドバイザー等の医療関係者と連携することで、効果的かつ持続的にデータ分析が行える体制を整備。



2 県内の医療提供状況等の分析

- データ分析チームにより、レセプトデータ等を活用して、県内の10医療圏ごとに、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析（＝地区診断）を実施。
- 分析結果を圏域別調整会議に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。



10医療圏毎に行った地区診断の結果を調整会議に提供し、議論を活性化

3 研修会の開催

- 地域の医療ニーズを踏まえた機能再編や連携強化への取組の増加に資するよう、県内病院等を対象にした研修会（オンライン形式）を開催。



【研修会で紹介する内容】

- 県内の医療提供体制の状況
- 国及び県の医療政策の動向
- 医療機関が活用できる支援策
- 他の都道府県で行われた機能再編等の優良事例 等

3. スケジュール（案）

	R6. 7月～9月	R6. 10月～12月	R7. 1月～3月
1	データ分析チームの構築		
2		県内の医療提供状況等の分析	圏域調整会議に分析結果を提供
3			研修会（12月）

医療提供体制の「グランドデザイン」の概要

- 医療ニーズが変化し、医療サービスの担い手の減少が加速化していく2040年を含む中長期を見据え、限られた医療資源を最大限有効に活用する観点から、入院・在宅・外来医療体制について、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進。

【入院医療体制】

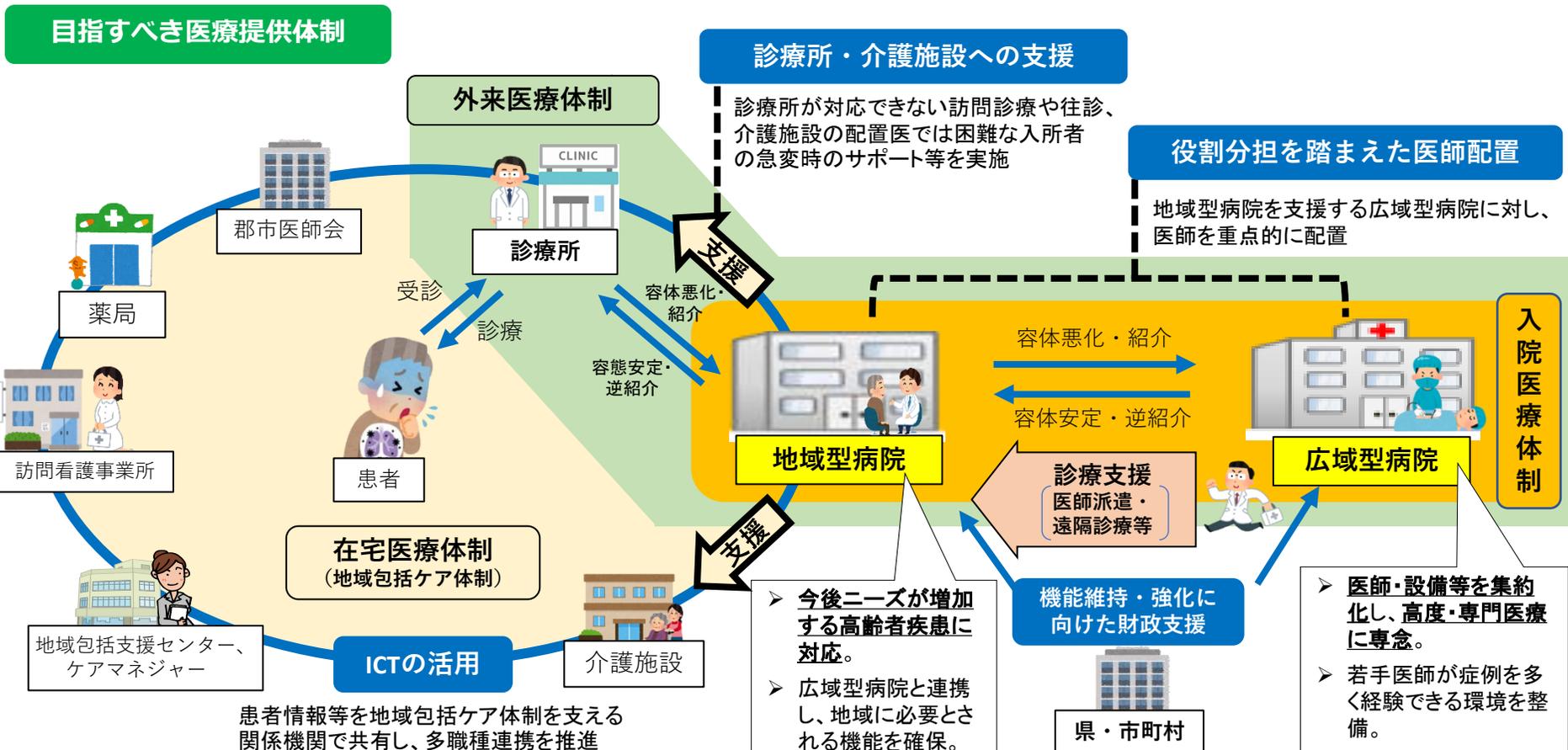
「地域型病院」と「広域型病院」による役割分担と連携を推進。

【在宅医療体制】

「地域型病院」を中心とした連携体制を強化するとともに、ICTを活用した患者情報等を共有する取組を積極的に推進。

【外来医療体制】

「かかりつけ医機能を担う医療機関（診療所、地域型病院）」を明確化するとともに、それらと「紹介患者を中心に診る医療機関（広域型病院）」による役割分担と連携を推進。



本県における今後の地域医療構想の進め方 スケジュール(案)

	令和6年度			令和7年度			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
圏域別調整会議	第1回		第2回	〔必要に応じて開催〕	第1回	〔必要に応じて開催〕	第2回
	1. 次期地域医療構想を見据えた議論【令和8年度からの策定開始を見据えた議論】 2. 圏域ごとの2025年以降も見据えた医療提供体制の課題や状況について議論【継続的に議論】						
医療情勢等連絡会	必要に応じて随時開催						
県単位での関係会議等			2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会設置を検討	2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会を開催			

■ 圏域別調整会議の議題(案) ※地域医療構想に関する議題のみ

【令和6年度第1回】

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の議論(検証)について
- 区域対応方針の策定について(推進区域の場合)等

【令和6年度第2回】

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の(議論)検証について
⇒ 地域に見える化として、データ分析事業による地区診断結果を提示
- 区域対応方針の策定について(推進区域の場合)等

【令和7年度第1回】

- 2040年を見据えた次期地域医療構想について(国の検討状況を見据えつつ内容を設定)
⇒ R7年度末に、策定ガイドラインが示される見込み。
- 圏域ごとの医療提供体制における課題や状況について等

【参考（R 6時点）】

各医療機関の今後の方針（対応方針）について

※圏域における議論等を踏まえ、必要に応じ、随時見直しを行っていく。

対応方針 — 今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針 — (飯伊医療圏)

○ 各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

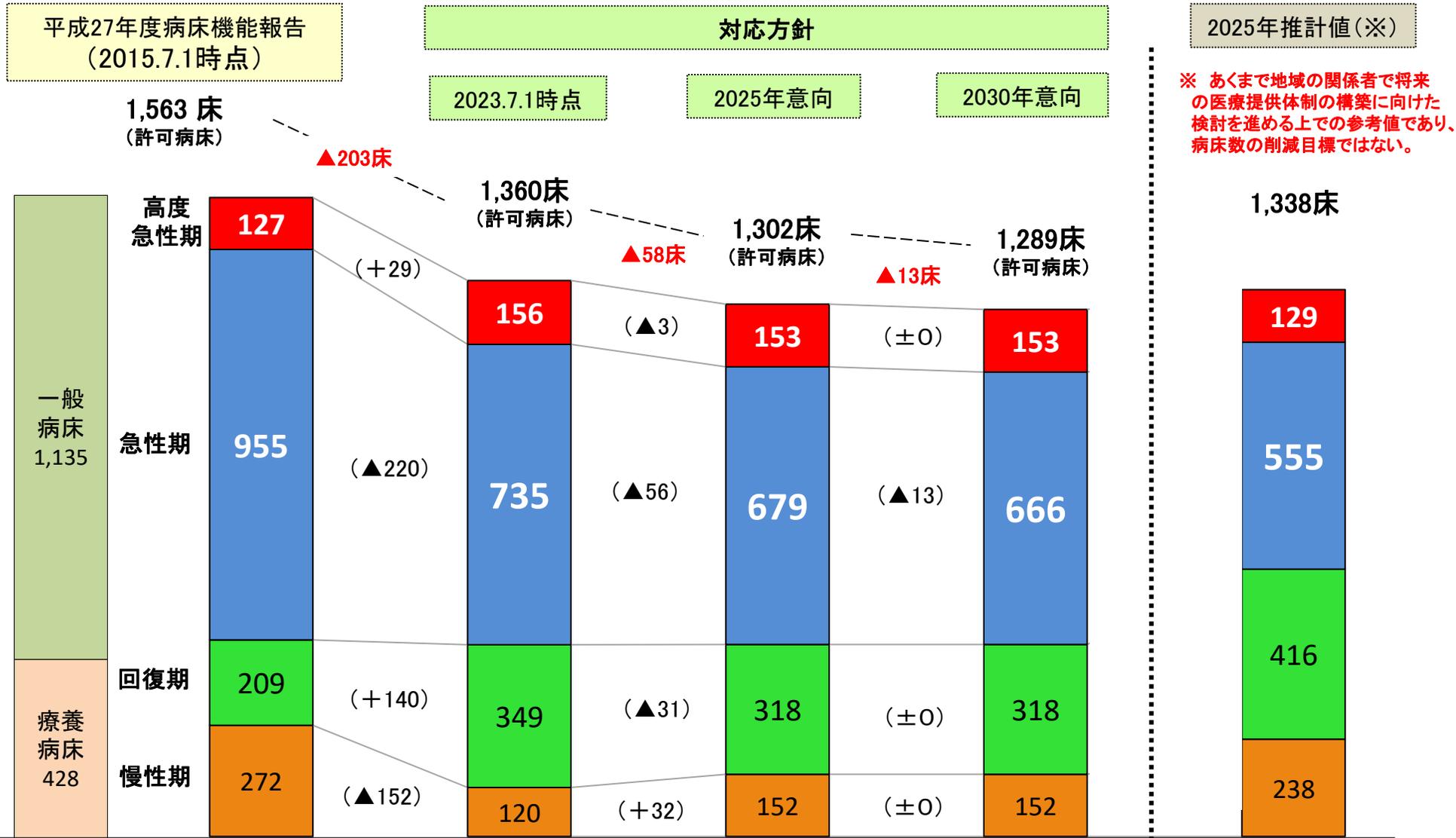
【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・専門	② 軽症急性期	③ 地ケア	④ 回りハ	⑤ 長期療養	⑥ 特定診療	⑦ かかりつけ	
飯田市立病院	病院	◎		○				○	当院は今後も、飯伊医療圏の中核病院として高度・専門医療を中心とした急性期医療を担っていきます。
飯田病院	病院	○	◎	○	○	○	○	○	○地域の開業医や施設等との連携をより深め、これまでも力を入れ取り組んできた、疾患・病期に応じた組織横断的な院内連携を継続し、急性期から軽症の入院を要する患者の受入や、長期療養が必要な慢性期患者の受入等の機能を発揮したい。また、飯田下伊那地域の地域包括ケアの拠点となる病院として地域に貢献していきたい。
輝山会記念病院	病院		○	○	○	○		◎	・地域のかかりつけ病院、コミュニティーホスピタルとしての機能の拡充。 ・回復期機能を減らし、慢性期機能を増やす。
健和会病院	病院		○	◎	○	○		○	2022年10月病棟再編を行い一般病床マイナス18床、地ケアプラス6床、療養プラス3床、急性期医療の受け入れ、回復期リハ病棟での重症者受け入れの役割を担いながら在宅支援での地域包括ケア病棟、療養病棟を最大限にいかしていく。在宅医療への展開、強化を行う。
長野県立阿南病院	病院		◎	○				○	・2021年(令和3年)3月から地域包括ケア病床を本格的に稼働させており、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者の受け入れにも力を入れていきたいと考えます。
長野県厚生農業協同組合連合会下伊那厚生病院	病院		◎	○		○		○	現行の病床数と機能を維持し、下伊那北部地域の重症者以外の救急医療の提供をベースに、ポストアキュートやサブアキュートの受入と近隣の開業医や介護施設等からのニーズに応えていく。また、現在の標榜診療科の診療とプライマリ医療も継続する。
下伊那赤十字病院	病院		○	◎	○	○		○	・下伊那郡北部(一部上伊那郡南部含む)における地域住民に、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・在宅支援を一体的に提供する。
瀬口脳神経外科病院	病院	◎	○					○	神経救急へ特化した医療機関として、24時間365日、重症の救急患者の受け入れ、手術等を実施する方針である。併せて、早期からのリハビリテーションを実施し、必要に応じて脳卒中地域連携バスを基に回復期病院へ転院となることでADLの維持向上を目指す。
菅沼病院	病院			◎	○	○		○	大きな変更は考えていないが、急性期病院の後方支援を行うとともに、他疾患をかかえ回復に時間がかかる、もしくは回復が難しい患者さんの慢性的な医療支援、また治療を継続して行っていく。入院患者のACP、地域診療所と連携しACPの取り組みをしていく。かかりつけ医として、患者さん本人をみるとともに、家族が入院された時なども必要があれば療養、治療の支援をつづけていく。
慶友整形外科	診療所		○		◎			○	現状維持
市瀬整形外科	診療所		◎		○			○	現状を維持するとともに、大学病院等の高度医療機関と連携し、ベストな方法を考える。
橋上医院	診療所							◎	在宅医療における、24時間対応可能な訪問診療、在宅看取り。

対応方針 — 機能別病床数の意向 — (飯伊医療圏)

- 2025年の意向を集計した結果、2023年7月1日時点と比較すると、急性期等から慢性期への転換が図られ、総病床数は58床減少する見込み。
- 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向から総病床数が13床減少する見込みとなっている。



対応方針 — 機能別病床数の意向 — (飯伊医療圏: 医療機関別)

- 2025年までに、下伊那厚生病院において急性期機能から他の機能への転換、下伊那赤十字・瀬口脳神経外科において急性期病床削減、阿南病院において各機能の減床、輝山会記念病院において回復期から他機能への転換が行われる見込み。
- 2025年から2030年までの間には、飯田病院が急性期病床13床を削減する見込み。

【凡例】 A: 2023年7月1日時点の機能別病床数 B: 2025年における機能別病床数の意向 C: 2030年における機能別病床数の意向

病院名	高度急性期			急性期				回復期				慢性期				休棟				介護施設等への転換				病床数計											
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
飯田市立病院	131	131	131	0	0	226	226	226	0	0	46	46	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	403	403	403	0	0
飯田病院	5	5	5	0	0	155	155	142	0	-13	52	52	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	212	212	199	0	-13
輝山会記念病院	0	0	0	0	0	52	52	52	0	0	100	80	80	-20	0	47	67	67	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	199	199	199	0	0
健和会病院	4	4	4	0	0	60	60	60	0	0	89	89	89	0	0	36	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	189	189	189	0	0
長野県立阿南病院	0	0	0	0	0	42	36	36	-6	0	43	16	16	-27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	52	52	-33	0		
厚生連下伊那厚生病院	0	0	0	0	0	65	37	37	-28	0	0	16	16	16	0	8	20	20	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	73	73	0	0		
下伊那赤十字病院	0	0	0	0	0	66	56	56	-10	0	0	0	0	0	0	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	62	62	-10	0		
瀬口脳神経外科病院	16	13	13	-3	0	50	38	38	-12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	51	51	-15	0		
菅沼病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	22	0	0		
病院計	156	153	153	-3	0	716	660	647	-56	-13	330	299	299	-31	0	119	151	151	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1321	1263	1250	-58	-13		

有床診療所名	高度急性期			急性期				回復期				慢性期				休棟				介護施設等への転換				病床床計											
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
慶友整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
市瀬整形外科	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0		
橋上医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0		
有床診療所計	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	19	19	19	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	39	39	0	0		

総計	156	153	153	-3	0	735	679	666	-56	-13	349	318	318	-31	0	120	152	152	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1360	1302	1289	-58	-13
----	-----	-----	-----	----	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---	-----	-----	-----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	------	------	-----	-----